



『知らなきゃ損する 新 農家の税金 (第20版)』

鈴木 武・林田 雅夫・高久 悟 著

農山漁村文化協会 刊

定価 2,200円 (本体円2,000+税)

『新農家の税金』は農業生産者のための確定申告のハンドブックで、1990年の初版発行からこれまでの累計が25万部を超えるロングセラーだ。毎年の税制改正に合わせて改訂を重ねているため、全国の農家からの信頼が厚い。第20版では令和5年の確定申告で適用される税制改正を内容に織り込んだ。

所得税の仕組みと税金の計算方法を説明する第1章では、所得控除や税額控除の上手な方法を指南する。「苗や堆肥などをもらったお礼の品代」や「住宅の修繕費や電気代、背広代の一部」も必要経費として計上できる、などの知っておくべき事項も満載だ。

インボイス制度開始が今年の10月1日と間近に迫っている今、第4章の「消費税を納める農家の注意点」は精読しておきたい。農家は生産資材などを購入する際に消費税を支払う。そして農産物販売や観光農園サ

ービスなどを手掛ける事業者でもある。その両方の立場に同制度は影響する。

農家が、課税売上高が1,000万円に満たない免税事業者から生産資材を購入すると、先方から適格請求書を受け取れず、仕入れ税額控除ができなくなる。また、免税事業者である農家が農産物を食堂などに販売している場合、先方に適格請求書を発行できないために今後の取引を断られてしまうことも起こりうるのだ。

令和4年度税制改正のポイントをまとめた第5章では「農地補修の合理化等のために農地等を譲渡した場合の800万円特別控除の改定」「山林所得に係る森林計画特別控除の延長」などを網羅する。さらには高齢自営業者に必需の国民健康保険や介護保険の仕組み・適用方法を解説。農家の悩みの種でもある相続税・贈与税の税率表も収録する。

経営・管理の現状把握は、経済の安定と拡大に欠かせない。それを手助けしてくれる力強い味方で、経営合理化の一助になる必携の書だ。

(日本農業新聞 齋藤 花)